

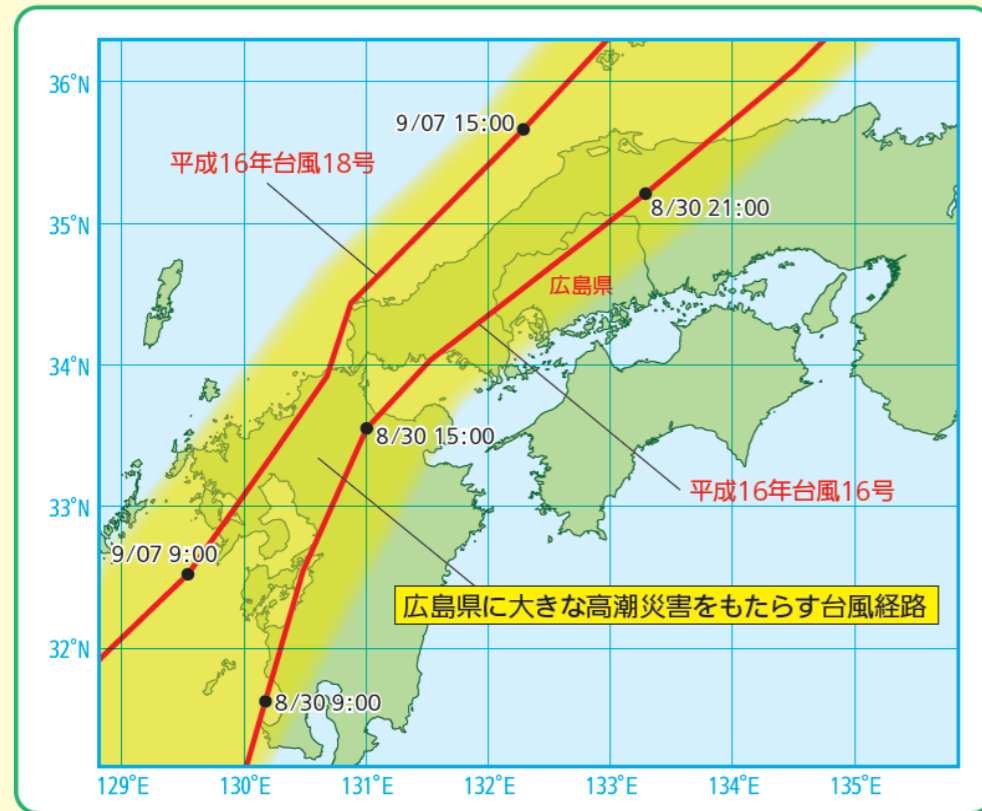
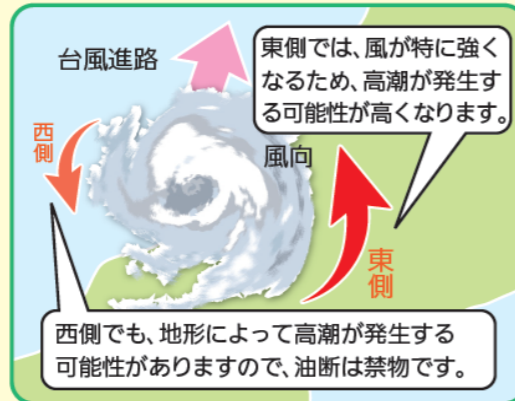
高潮災害をもたらす主な台風

広島県の西側を通る台風は高潮が発生しやすくなります。

台風が広島県の西側を通ると、高潮が発生する危険があります。

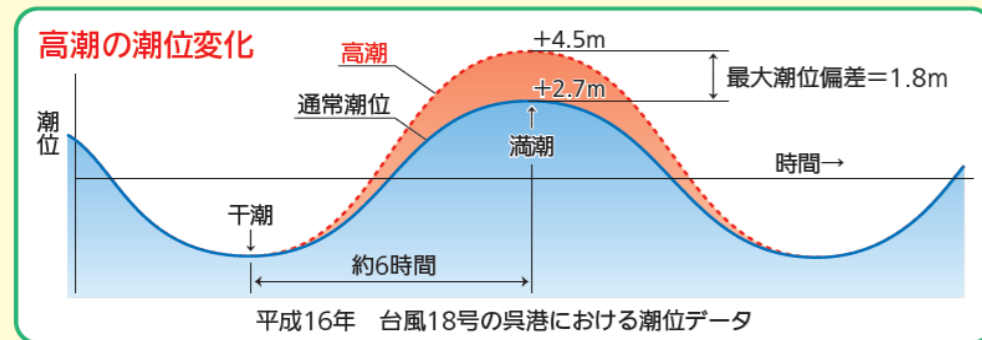
平成16年の16号と18号台風はこの経路を辿り、大きな高潮災害となりました。

これは台風が反時計回りに回転しながら進むので、瀬戸内海からの吹き寄せが強くなるためです。



台風の接近と満潮の時刻に注意しましょう。

台風の通過と満潮が重なると潮位が短時間に上昇し、大きな高潮被害が発生する恐れがあります。台風の動きと潮位の変化に注意しましょう。



浸水時の危険性

風雨の中の避難は大変危険です。

台風が近づく前に早めに避難しましょう。

風雨の強い中では、成人男性でもまともに歩くことができません。また、風でいろいろな物が飛んできて大変危険です。風雨が強まる前に早めに避難しましょう。



街が浸水すると大変危険です。

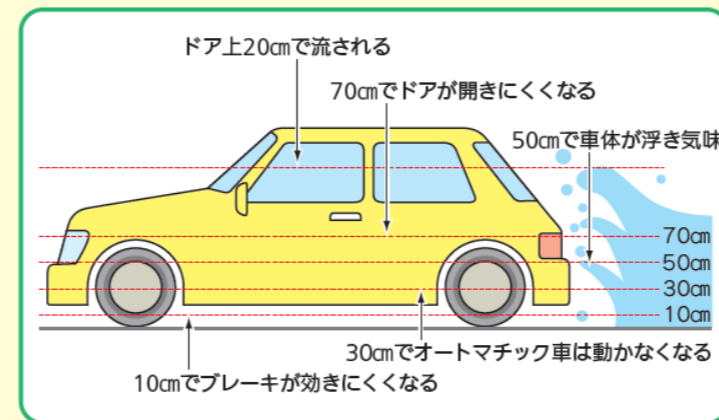
高潮によりひとたび街が浸水すると、道路は川のようにになり、水深が深くなるとお年寄りや子供が歩くことはできなくなります。

また、道路脇の側溝やマンホールの判別ができず転落する恐れもあります。浸水が予想される場合は、早めの避難が重要です。



車での避難はやめましょう。

浸水した道路を車で走るとブレーキが効かない、ドアが開かない、窓が開かないなどの危険を伴います。また、水深30cmを超えると電気系統が壊れて車が動かなくなる場合があります。車での避難はやめましょう。



避難時の心得

災害前

- 日頃から避難所、避難経路について家族で話し合うことが大切です。
- 避難時に必要な携帯品を予め準備しておきましょう。



避難時に役立つと思われる携帯品

図は避難する時に役立つと思われる携帯品です。日頃より、災害に備え非常持ち出し品を備えておきましょう。



災害時

- 市役所や消防団等からの避難の呼びかけに注意しましょう。
- 隣近所、地域で声を掛け合いみんなで避難しましょう。
- 避難する時には、戸締まりと火の元に注意しましょう。
- 浸水時は、動きやすい服装で、足下に十分注意しながら避難しましょう。



情報の入手と伝達

- 市役所や消防団からの呼びかけ
災害時には、市役所や消防団から避難勧告などの呼びかけを行います。
- テレビやラジオ、インターネットによる情報収集
気象情報や潮汐情報は、テレビやラジオのほか、インターネットにより入手できます。ただし、利用が集中するとつながりにくくなる場合があります。
【広島県防災情報Web】(広島県のホームページからアクセスできます。)
<http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/hdis/>
【呉市ホームページ】
<http://www.city.kure.hiroshima.jp/>
【呉市防災情報メール配信サービス】
災害時に緊急かつ重要な防災情報を、携帯電話などにメールで配信するサービスです。登録方法は、呉市ホームページに掲載しています。
- NTT災害用伝言ダイヤル(忘れてイナイ「070」)
災害用伝言ダイヤルは、災害の発生により被災地への通信がつながりにくくなった場合に提供が開始されます。「171」をダイヤルし、音声案内にしたがって、伝言の録音・再生を行ってください。
※詳細はNTT西日本の伝言ダイヤル利用案内をご覧ください。
<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/index.html>